

JBMIA

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会

Japan Business Machine and Information System Industries Association

一般社団法人ビジネス機械･情報システム産業協会（JBMIA）とは……

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会は、我が国のビジネス機械とそれに付随する情報システム産業の総合的な発展、並びにその改善合理化を図ることにより、日本経済の発展とオフィス環境の向上に寄与することを目的とする業界団体です。

情報技術の進化は、デジタル・ネットワーク時代の高度化をもたらし、オフィス環境に大きな変化を促しております。当協会では、ハード重視から製品を含むトータルなビジネスソリューションの提供をより重視するという業態の変化を受けて、製造事業者のみならず、販売、サービス関連の事業者とも連携を深めて、政策提言、国際協力、温暖化防止、環境保全、標準化、製品安全等に関する事業や調査研究事業を行い、業界の直面する内外の重要課題に対応して、活発な委員会・部会活動を展開しています。

事業内容

ビジネス機械･情報システム産業に関連する

- ■ 調査研究及び情報の提供
- ■ 効率化方策の策定及びその推進
- ■ 規格の作成及び標準化の推進
- ■ 国際交流及び国際協力の推進
- ■ 環境、安全及び品質問題に関する事業の推進
- ■ 普及と啓蒙
- ■ その他、本協会の目的を達成するために必要な事業

設立の経緯

1960 年（昭和 35 年）2 月 17 日：日本事務機械工業会の発足
1966 年（昭和 41 年）11 月 1 日：社団法人日本事務機械工業会の設立
2002 年（平成 14 年）4 月 1 日：社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会に改称
2012 年（平成 24 年）4 月 1 日：一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会に移行

会員の種別と資格

■正会員：ビジネス機械・情報システムの製造事業を営む法人
*正会員のグループ企業も登録により、委員会・部会活動に参加することができます。

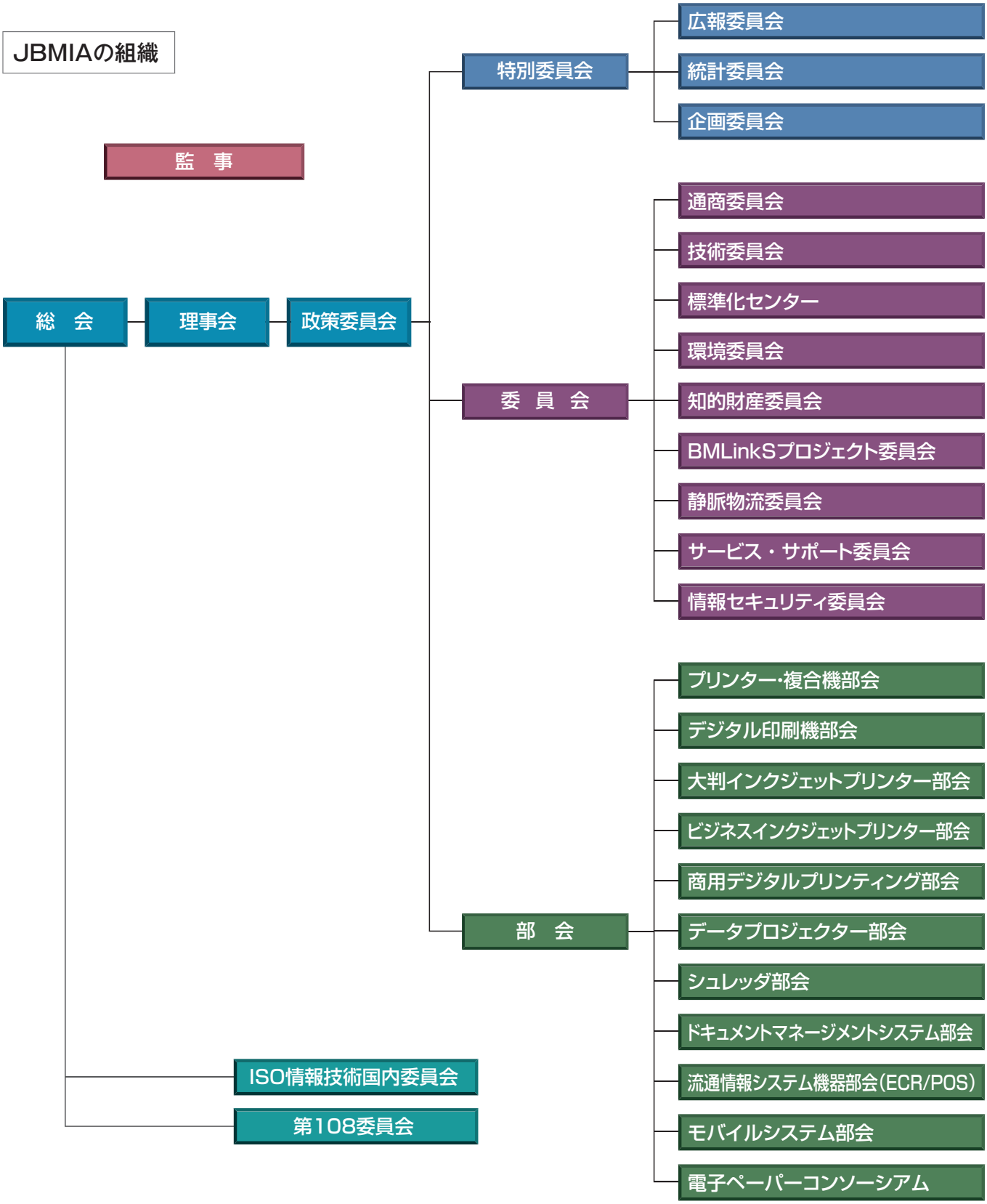
■準会員：前項に該当しない法人
*委員会・部会活動に参加することができます。

■賛助会員：本会の目的に賛同し、協力しようとする法人
*委員会・部会活動に参加することはできません。

主な対象機器

- ■ 複写機･複合機
- ■ ページプリンタ
- ■ デジタル印刷機
- ■ 大判インクジェットプリンター
- ■ ビジネスインクジェットプリンター
- ■ 商用デジタルプリンティング
- ■ データプロジェクター
- ■ シュレッダ
- ■ ドキュメントマネージメントシステム
- ■ ECR／POS（金銭登録機）
- ■ カード及びカードシステム
- ■ 電卓･電子辞書
- ■ 電子ペーパー

JBMIAの組織


監　事
総　会
理事会
政策委員会
特別委員会
広報委員会
統計委員会
企画委員会
委　員　会
通商委員会
技術委員会
標準化センター
環境委員会
知的財産委員会
BMLinkSプロジェクト委員会
静脈物流委員会
サービス・サポート委員会
情報セキュリティ委員会
部　会
プリンター･複合機部会
デジタル印刷機部会
大判インクジェットプリンター部会
ビジネスインクジェットプリンター部会
商用デジタルプリンティング部会
データプロジェクター部会
シュレッダ部会
ドキュメントマネージメントシステム部会
流通情報システム機器部会(ECR/POS)
モバイルシステム部会
電子ペーパーコンソーシアム
ISO情報技術国内委員会
第108委員会

会 長 挨 拶



一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会

会　長 山下　良則

（株式会社リコー　代表取締役 社長執行役員 CEO）

世界経済および日本経済は順調な拡大を続けるものの、貿易摩擦の激化に対する懸念など、今後の展開については不確実性が高まっています。
他方、情報通信技術の劇的な進歩に加え、人工知能の実用化も進み、オフィスも工場も、第4次産業革命とも呼ばれる大きな変化の渦の中にあります。そのため私達の業界には、これまで以上に新しいイノベーションを生み出し、経営面でも素早い対応を採ることが求められています。

このような中で、グローバル社会が持続的に発展していくためにSDGsが提唱されるなど、社会変革に向けて国際社会が連携した取り組みを加速しており、グローバルで事業活動を行う当業界への期待も一層高まっていると認識しています。

私は、このような環境変化を踏まえ、当業界としてグローバル社会の課題解決にリーダーシップを発揮して応えていきたいと考えています。そして、多様化するニーズを先取りし、新しい価値を創出するために未来志向で発想し、当協会の会員企業と一体となってイノベーティブな社会の実現に寄与できる業界団体であり続けるために、政策提言などの協会活動に積極的に取り組みます。

私は新会長としてJBMIAが取り組む重点テーマを、「グローバル社会の一員としてSDGsに貢献」、「グローバル競争環境の変化への対応強化」、「協会プレゼンスの向上」の三点としました。これらの施策により、協会の理念の実現に貢献し、当協会が取り組むべき様々な課題にチャレンジしてまいります。
皆様のご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

委員会・部会の主な活動と成果

JBMIA活動の基本方針として、デジタル化、ネットワーク化の推進、地球環境問題、ユーザーニーズ変化への対応等、業界の共通重要課題の解決への貢献をモットーに機動的な事業活動をしています。

活動事例紹介

環境・回収リサイクル

当協会が所管する製品に対する国内外の環境関連法規制（回収リサイクルや含有化学物質など）や環境ラベル（エコマークやブルーエンジェルなど）に関する動向調査・対応等、環境をテーマにした様々な活動を行っています。
複写機・複合機／デジタル印刷機の製造メーカー12社が中心となり、各社が営業活動で下取りした他社の使用済み機を「回収機交換センター」へ集荷し、そこからそれぞれの製造メーカーに使用済み機を返却するシステムを構築しています。
この活動により会員のリユース・リサイクルの促進、回収時物流の共同化による輸送時のCO_2排出の削減等に寄与しています。

標準化関連

各委員会・部会での標準化活動に加えて、事務機器のアクセシビリティやユーザーインターフェイス向上のための標準化活動、カラーマネージメント関連の標準化活動などを推進しています。
これら活動の成果である、JBMS（協会規格）やJBMIA-TR（協会標準報告書）をホームページで公開し、業界標準の普及促進にも努めています。
また、ISO及びIECの国際標準化に係わる国内審議団体として、国際会議への参加、日本発の国際標準の提案などを積極的に行っています。さらに、制定／改正された国際規格のJIS化活動を行い、規格の普及を図っています。

国際関連

めまぐるしく変貌する国際社会の中で、WTO関連やAPECなどのグローバルテーマに関して、複合機の関税に関するWTO提訴活動を長年進めてきたのを例に、事業運営及びビジネスに関与するテーマの分析、研究の上、業界の利益、品質向上を目指し、各種諸問題、課題解決を推進しています。

BMLinkSプロジェクト

ネットワーク上のオフィス機器の接続性、データー互換性を飛躍的に向上させるインターフェイス仕様 "BMLinkS" の開発と利用環境の整備を進めています。
2006年までに各種業界標準仕様の策定と「統合プリンタドライバ」を始めとする共通ソフトウェアの公開を通して、マルチベンダーのオフィス機器間のスキャン・ストレージ・プリント機能を簡単に利用できるドキュメント流通インフラを実現しました。
更に2008年にはオフィスデバイス管理の業界標準を、2010年には情報マーキングの業界標準を公開し、ユーザー、IT管理者等の利便性向上を目指した活動を着実に推進しています。

役員名簿 Board Members

代表理事	会長	山下 良則　株式会社リコー　代表取締役　社長執行役員
代表理事	筆頭副会長	池田 隆之　東芝テック株式会社　代表取締役社長
理事	副会長	真栄田 雅也　キヤノン株式会社　代表取締役社長 COO
理事	副会長	松﨑 正年　コニカミノルタ株式会社　取締役会議長
理事	副会長	野村 勝明　シャープ株式会社　代表取締役　副社長執行役員
理事	副会長	碓井 稔　セイコーエプソン株式会社　代表取締役社長
理事	副会長	玉井 光一　富士ゼロックス株式会社　代表取締役社長
理事		樫尾 和宏　カシオ計算機株式会社　代表取締役社長
理事		伊奈 憲彦　京セラドキュメントソリューションズ株式会社　代表取締役社長
理事		小池 利和　ブラザー工業株式会社　代表取締役会長
理事		羽山 明　理想科学工業株式会社　代表取締役社長
代表理事	専務理事	田中 博敏　一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
業務執行理事	常務理事	橋爪 弘　一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
監事		井上 崇　株式会社沖データ　執行役員
監事		村田 大介　村田機械株式会社　代表取締役社長

正会員 Regular Members

アイリスオーヤマ株式会社
NECディスプレイソリューションズ株式会社
沖電気工業株式会社
カシオ計算機株式会社
キヤノン株式会社
京セラドキュメントソリューションズ株式会社
コニカミノルタ株式会社
シャープ株式会社
セイコーエプソン株式会社
ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ株式会社
株式会社デュプロ
東芝テック株式会社
パナソニック株式会社
富士ゼロックス株式会社
富士通株式会社
富士フイルム株式会社
ブラザー工業株式会社
マクセル株式会社
株式会社ミマキエンジニアリング
村田機械株式会社
株式会社明光商会
株式会社リコー
理想科学工業株式会社

準会員 Associate Members

アコ・ブランズ・ジャパン株式会社
アマノセキュアジャパン株式会社
NECプラットフォームズ株式会社
株式会社オカムラ
株式会社グレープシステム
株式会社コスモス・コーポレイション
サトーホールディングス株式会社
Sky株式会社
テュフ・ラインランド・ジャパン株式会社
株式会社東陽テクニカ
株式会社日本HP
日本通運株式会社
一般財団法人 日本品質保証機構（略称JQA）
フェローズジャパン株式会社
マイクロウェーブファクトリー株式会社
株式会社ULJapan

賛助会員 Supporting Members

イー・インク・ジャパン株式会社
京セラ株式会社
日立オムロンターミナルソリューションズ株式会社

（2020年 4月現在）

委員会 Committee

特別委員会

企画委員会
当協会の主要事業に関する課題等の審議と、理事会への提案について検討をする

広報委員会
当協会の事業活動に関する情報発信、広報の普及啓蒙について検討し、実施する

統計委員会
当協会が所管する製品の統計・調査を検討し、実施する

課題別委員会

通商委員会
グローバルテーマに関して、事業の観点に基き、通商問題に関する活動、及び急速に拡大する新興市場に対する業界の取組みについて、調査、分析、業界の統一見解を通して、日本政府と共に活動している

技術委員会
製品安全、EMC（電磁環境）、通信、電磁波による人体曝露に関する規制動向調査とその対応策の検討、新技術動向調査、ユーザビリティ調査研究、包装関連規制動向調査などを行い、技術的課題の解決を図る

標準化センター
カラー化／ネットワーク化に対応した標準化、ユーザーインターフェイスの利便性改善、高齢化・障がい者に配慮した事務機器のアクセシビリティ改善、協会の標準化活動の推進、JIS原案作成活動推進などを実施

環境委員会
地球環境の維持向上に向けて、ビジネス機械・情報システム産業における国内外の社会動向、及び環境問題について総合的に調査・研究を行い、環境問題の解決に取り組む

知的財産委員会
工業所有権、法務・著作権及び模倣品対策の調査研究、業界意見の取りまとめなど、日本特許庁及び諸外国特許庁などと連携の上、諸制度の改善、提案活動など

BMLinkSプロジェクト委員会
ネットワークに接続されたオフィス機器間の接続性などの標準化

静脈物流委員会
使用済み製品の回収に関するシステムを推進する委員会
ユーザーから下取りにて回収した他社複写機・複合機等を効率良く交換・再資源化するシステムを運用中

サービス・サポート委員会
サービス・サポート業務の検討、カスタマエンジニア(CE)のスキルアップ策の検討、及び提供するサービス・サポートレベルの向上の検討など

情報セキュリティ委員会
国内外の情報セキュリティに関する規制情報等の収集分析、標準化対応、協会事業に関わる情報セキュリティ課題への対応等について政府機関、他の関連団体等と連携しつつ活動する。

ISO／IEC国内委員会

ISO情報技術国内委員会
ISO国際標準の作成と提案及び国際規格の審議
（対応分野：事務機械、カード及び個人識別、情報機器に関わるユーザーインターフェイス）

第108委員会
IT機器、オーディオ・ビデオ及び関連電子機器部門の安全性に関わる標準の国際規格（IEC）への提案並びに電気用品技術基準の整合化など

部　会 Groups for each product

製品別部会

プリンター・複合機部会
省エネの促進、3Rの促進、用語・仕様書様式などの標準化、判りやすい表示の検討、流通に関する諸問題の把握・検討と適切な対応。

デジタル印刷機部会
標準化の推進、3R促進、製品の普及促進及び業界動向の把握など

大判インクジェットプリンター部会
大判インクジェットプリンター分野の使用環境に関する安全性や、基本仕様をカタログに記載する方法の標準化の検討など

ビジネスインクジェットプリンター部会
オフィス等で利用が広がるビジネス用途のインクジェットプリンター分野で、各社のカタログに記載される基本仕様やTCO関連の公表データに関する測定方法の標準化の検討など

商用デジタルプリンティング部会
商用デジタルプリンティング分野において、用語の共通化・UI表示の統一や印刷ワークフローの連携強化と領域拡大についての検討など

データプロジェクター部会
性能表記や測定方法・条件、用語などの業界統一、標準化の推進、PJLinkの普及促進、新光源の安全規格対応など

シュレッダ部会
安全性、規格基準、法規、環境、リサイクルに関する調査・研究など

ドキュメントマネージメントシステム部会
文書情報を通して「企業の透明性の確保」と「経営力の強化」を両立させるための『文書管理システム(DMS)』の開発と普及促進の取り組みなど

流通情報システム機器部会（ECR/POS）
ECR及びPOSシステムの国内外の市場動向の把握、次世代POSシステムの調査・研究など

モバイルシステム部会
モバイルワーク及び機器の活用提案や電卓・電子辞書等のモバイル関連機器の市場動向や技術動向等の調査分析、標準化、自主統計など

電子ペーパーコンソーシアム
電子ペーパーが第3のメディアとして世界的に普及することを実現するため、国内外の市場及び技術動向の調査、普及シーンとユーザーニーズに関する調査、標準化に関する調査など

JBMIAの理念・あるべき姿 Management philosophy of JBMIA

【理　念】

ビジネス機械・情報システムの継続的な革新を通じて、
新しいワークスタイルを提案し、活力あるグローバル社会を創る

【あるべき姿】

- 業界の将来をグローバルに見据え、情報収集、分析を行い、政策提言ができる団体であること
- お客様の安心・安全・利便性を徹底的に追求していること
- 低炭素社会・循環型社会の実現をリードしていること

【MEMO】

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
Japan Business Machine and Information System Industries Association
〒108-0073　東京都港区三田3-4-10　リーラヒジリザカ7階
TEL: 03-6809-5010　FAX: 03-3451-1770　http://www.jbmia.or.jp



都営三田線・都営浅草線 「 三田 」駅より　徒歩 約4分
JR山手線 「 田町 」駅より　徒歩 約6分

VEGETABLE OIL INK

MIX
From responsible sources
FSC® C014542